世界かんがい施設遺産
World Heritage Irrigation Structure in Japan


加茂用水の龍樋があった西方川（長池）


一級河川菊川の嶺田用水取水地（奈良野）

祝 小笠地域かんがい用水群 世界かんがい施設遺産登録

水路とため池、隧道で紡ぐ水のネットワーク

菊川市を含む小笠地域で受け継がれてきた「小笠地域かんがい用水群」が、このたび世界かんがい施設遺産に登録されました。地域の農業を支えてきた用水路やため池の歴史をたどりながら、その魅力を紹介します。

問 農林課土地改良係（☎35-0940）、大井川右岸土地改良区（☎35-2413）

先人たちが築いた『水の道』

菊川市・掛川市を中心とした小笠地域は、温暖な気候に恵まれ、古くから農業が盛んな地域です。その一方で、大きな河川が少なく、雨の少ない時期にはたびたび水不足や干ばつに悩まされてきました。こうした厳しい条件の中で、先人たちは地形を読み、川や谷、ため池をつなぎながら、用水路やため池を整備してきました。

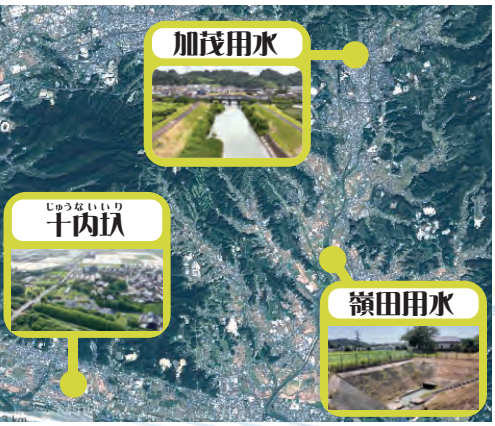
農業者たちの手によって築かれたこの「小笠地域かんがい用水群」は、地域の農業を支える生命線となり、現在の面積に換算すると979ヘクタール（東京ドームおよそ209個分）の田畑を潤していました。

世界が認めた歴史と技術

今年8月、国際かんがい排水委員会は、大井川右岸土地改良区が申請した「小笠地域かんがい用水群」を、世界かんがい施設遺産として登録することを決定しました。

世界かんがい施設遺産とは、農業用水利施設について、その歴史的・技術的・社会的価値を評価し、認定する制度です。かんがいの歴史や発展を広く伝え、貴重な施設を将来へ守り繋いでいくことを目的としています。

10月には、フランス・マルセイユで認定式が行われ、大井川右岸土地改良区の太田順一理事長らが出席。先人たちの努力が国際的に評価された歴史的瞬間となりました。



出典：国土地理院


認定証と記念盾


認定式の様子

先人たちが知恵と努力で築き、地域の皆さんが守り続けてきた施設が世界に認められたことを大変うれしく思います。
今回の登録は決してゴールではありません。これを励みとして、地域の大切な施設を次世代に受け継ぐため、地域の皆さんとともに、適切な保全と活用に努めてまいります。



大井川右岸土地改良区
太田 順一（じゅんいち） 理事長

小笠地域かんがい用水群の詳細は、大井川右岸土地改良区ホームページ（上記）をご覧ください。